

エコアクション 21

環境経営レポート



活動年度 2023 年度

(活動期間 : 2023 年 1 月～2023 年 12 月)

2024 年 2 月 29 日発行



大進精機株式会社

《目次》

1. 会社概要	p.1
2. 対象範囲	p.2
3. 環境経営方針	p.4
4. 環境経営目標	p.5
5. 環境経営目標及び実績	p.6
6. 環境経営活動計画	p.6
7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無	p.7
8. 代表者による全体評価と見直し結果	p.8

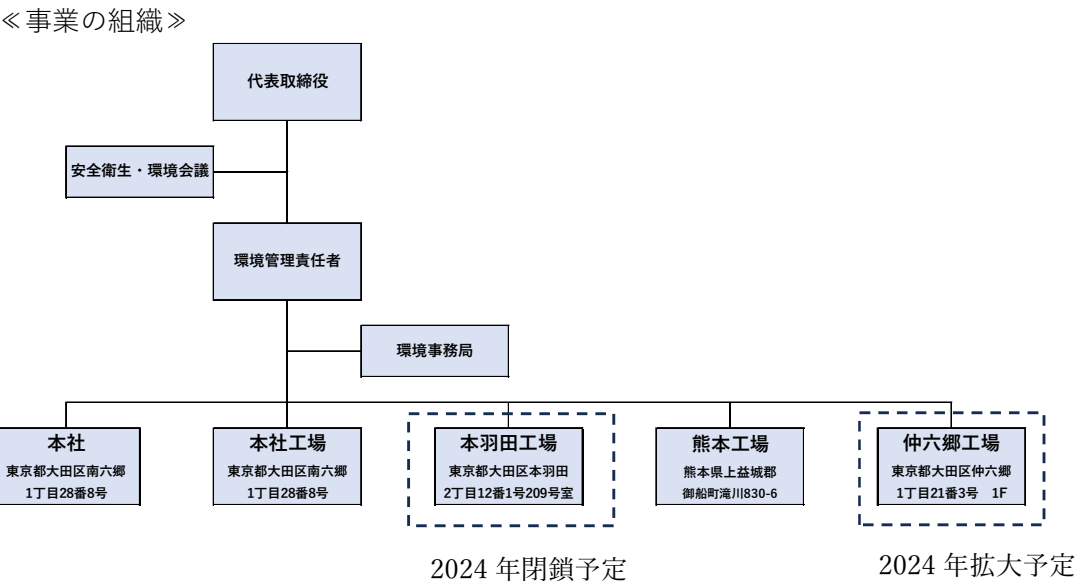
1. 会社概要

事業者名	大進精機株式会社	
代表者	代表取締役	宮田正広
所在地	本社工場	東京都大田区南六郷 1-28-8
	本羽田工場 (2024 年 5 月契約解除済)	東京都大田区本羽田 2-12-1-209
	熊本工場	熊本県上益城郡御船町滝川 1830-6
	仲六郷工場(今回拡大)	東京都大田区仲六郷 1-28-8
関連会社	株式会社ヴォーグ (EA21 対象外) 岩手県花巻市二枚橋第 5 地割 6 番地 38	
環境管理責任者	製造部 工場長 岡田 秀也	
担当者及び連絡先	総務担当 梶澤光男 T E L : 03-3737-0851	E-Mail : t.kabasawa@daishin-s-k.jp F A X : 03-3737-0871
	熊本工場担当 渡辺誠 T E L : 096-281-4012	E-Mail : kumamoto@daishin-s-k.jp F A X : 096-281-4013
事業活動	各種精密部品 機械加工	
	鉄道車両駆動装置・半導体製造装置・産業用ロボット関連・液晶装置関連 医療機器・航空宇宙産業・防衛産業・原子力発電関連など	
事業規模	創立	昭和 45 年 3 月
	資本金	1000 万円
	従業員数	40 名 (グループ総数 : 65 名)
	延べ床面積	586 (本社・工場㎡)
		99 (本羽田・工場㎡)
		319 (熊本・工場㎡)
		185 (仲六郷・工場㎡)

2.対象範囲

登録範囲は全事業所、全活動を対象とする。

(1) 実施体制表



(2) 役割・責任・権限

職名	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
全社環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する ・環境関連法規一覧表作成及び遵守評価実施 ・E A 21 実施体制図作成 ・別表 環境負荷チェックの実施
環境事務局	・環境経営目標・環境経営実施計画書/実績表の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポート作成 ・環境関連文書・記録の管理
工場環境管理責任者	・自部門における環境経営システムの実施 ・環境経営目標及び環境経営計画の実施、その達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置 ・環境経営目標・環境経営の従業員への教育
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営システムの役割分担とエコアクション 21 活動を推進する

3. 環境経営理念

大進精機株式会社は、金属部品加工業として環境問題の重要性を認識し環境保全と地域社会への貢献の為、継続的な改善に取り組みます。

《環境経営方針》

- (1) 環境関連法規制を遵守すると共に、自主基準・業務手順を整備し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。
- (2) 廃棄物排出量の削減と、資源としての再利用を促進する。
- (3) グリーン調達の実施(材料・物品購入・化石燃料、切削油の削減)
- (4) 環境目的・目標を年に一度見直し、改訂する。
- (5) 環境経営方針は全従業員に周知し啓発を図る。又、外部からの要求に応じて開示する。

《工場環境管理責任者の任命》

環境経営方針、環境目標を全社員へ理解させ維持・改善する為、各部門長に責任と権限を与えて工場環境管理責任者として任命する。

発行日 2023 年 1 月 1 日

大進精機株式会社

代表取締役 宮田正広

4.環境経営目標(単年度及び中長期目標)

環境経営目標項目			環境経営目標値				
		基準年 (2021 年)	排出係数	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
				目標	目標	目標	目標
		二酸化炭素の削減 (kg-CO2)					
	二酸化炭素	277,481	総量	271,931	266,382	260,832	255,283
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
		エネルギー使用量 (kWh)					
	電力使用量 本社・工場(kWh)	433,933	(排出係数 =0.489)	425,254	416,576	407,897	399,218
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
	電力使用量 熊本工場(kWh)	150,213	(排出係数 =0.371)	147,209	144,204	141,200	138,196
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
	ガソリン (L)	5,558	(排出係数 =2.32)	5,447	5,336	5,225	5,113
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
	軽油 (L)	1,472	(排出係数 =2.58)	1,443	1,413	1,384	1,354
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
	液化石油ガス(LPG) (m³)	109	(排出係数 =6.21)	107	105	103	100
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
		ごみの削減					
	産業廃棄物 (Kg)	29,088		28,506	27,924	27,342	26,761
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%
	水使用量 (m³)	376		368	360	353	346
		基準値		-2%	-4%	-6%	-8%

排出係数は 2020 年度の排出係数を使用しております。

本社工場はリコー電気、熊本工場は九州電力の係数を使用しております。

化学物質使用はありませんでした。

5. 環境経営目標の取り組み結果

環境への負荷			単位	2023 年 1～12 月			評価
				目標	実績	目標比	
温室効果ガス排出量							
	二酸化炭素	総量	kg-CO2	271,932	290,513	+6.8%	×
エネルギー使用量							
	本社・工場	(排出係数 = 0.489)	kWh	425,254	423,155	-0.5%	○
	熊本工場	(排出係数 = 0.371)		147,209	135,207	-8.2%	◎
	羽田工場	(排出係数 = 0.468)		- ※1	1,032	-	-
	仲六郷工場	(排出係数 = 0.434)		- ※2	51,791	-	-
	ガソリン	(排出係数 = 2.32)	L	5,447	5,750	+5.6%	×
	軽油	(排出係数 = 2.58)		1,443	1,352	-6.3%	◎
	LPG	(排出係数 = 6.21)	m ³	107	90.3	-15.6%	◎
廃棄物排出量							
	産業廃棄物		Kg	28,506	24,859	-12.8%	◎
水使用量							
	上水		m3	368	365	-0.5%	○

※1：本羽田工場は倉庫利用にて一年使用し、2024 年に契約解除の為、目標は定めていない。

排出係数は東京電力エナジーパートナー2020 年度使用しております。

※2：仲六郷工場 2023 年 1 月中旬より新規賃貸、更新審査時に拡大の為データ取りを行った。

排出係数は 2020 年度東京電力係数を使用しております。

※一般廃棄物はすべて産業廃棄物にて排出している。

6. 環境経営計画

目標	2023 年度の活動項目	評価	次年度の活動項目
電力使用量の削減	・冷暖房機器は適切な温度で使用する ※製造に係る部門は(23℃±5℃)	○	・冷暖房機器は適切な温度で使用する ※製造に係る部門は(23℃±5℃)
	・ムダな電気消灯、不使用時の設備電源停止	○	・ムダな電気消灯、不使用時の設備電源停止
	・品質管理強化し不良品撲滅 再製作を0に	×	・資料による連絡不備を無くす。
	・PC業務を見直し簡略させ業務効率化	○	・PC 業務を見直し簡略させ業務効率化
ガソリン使用量の削減	・エコドライブ・アイドリングストップの励行。	○	・エコドライブ・アイドリングストップの励行。
	・定期点検実施	○	・定期点検実施
	・朝礼活用し、2重ルート外回りを防ぐ。	○	・朝礼活用し、2 重ルート外回りを防ぐ。
可燃ごみの削減	・PC業務を見直し簡略させ業務効率化	○	・PCFAX の積極的活用
	・分別の徹底	○	・分別の徹底
水使用量の削減	節水ステッカーを貼り、省資源 節水教育	○	節水ステッカーを貼り、省資源 節水教育

7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は以下の通りです。

(1) 主な環境法規制の遵守状況

No.	法規名	要求事項		遵守評価結果	
		適用・遵守事項	条項	確認資料等	判定
1	廃棄物処理法	分別の徹底	法 6 条	廃棄物置場	○
		廃棄処理の委託	法 12 条	マニフェスト	○
2	労働安全衛生法	SDS 義務のリスク評価	法 57 条-3 ①	安全管理者選定	○
3	消防法	防火管理者の選任と届出	法 8 条	届出書類	○
				少量危険物保管	○
4	環境確保条例	工場認可	第 2 条	届出書類	○
5	フロン排出抑制法	エアコン・冷蔵庫	第 16 条	簡易点検表	○
6	下水道法	公共下水道	通常使用污水	異常時 PH 基準確認	○
7	家電リサイクル法	テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫		買替・破棄専門業者	○
8	自動車リサイクル法	業務用車両 6 台		トヨタ・リテイ東京	○
9	熊本県生活環境の保全等に関する条例	全規則	全条項		○
10	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例施行規則	全規則	全条項		○
11	企業間の取決め	Rohs 指令		製品構成物質データシート	○
		REACH 規制		含有有無証明書	○
				不使用証明書	○

定期評価の結果、法規制の逸脱はありませんでした。

又、違反や訴訟も設立以来発生していません。

8. 代表者による全体評価と見直し結果

<2023 年度 1～12 月 マネジメントレビュー記録>

① 取組状況の評価結果

項目	報告内容	代表者の評価
(1) 環境目標の達成状況、並びに環境活動計画の実施状況	2023 年度 環境経営計画書	2019 年度より ECO 活動に意識を向けた環境経営活動 EA21 を本格的にスタートしましたが、本年からは機械設備の増設後の新しい目標で評価、計画したことにより目標は達成することができた。
(2) 火災発生の通報・避難訓練に実施状況	実施状況、手順書の説明 報告	火災対応を環境上の緊急事態とし毎年定期的に訓練実施のこと。訓練の結果を受けて手順書の見直し継続して実施した。
(3) 環境法規制等に対する 遵守状況、並びに定期 確認結果	遵守状況と違反 0 件と報告	引続き、関連法規の改訂等の情報入手に努めた。

② 目標・環境活動計画の達成状況

目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント（目標値、活動計画に対するコメント）
(1) 二酸化炭素排出量の削減	○	○	基準の数値を現状設備導入後の数値にしたところ目標の達成はできた。
(2) 産業廃棄物の削減	○	○	産業廃棄物に関しては生産量の差が大きく出たのか大幅な削減になりました。削減結果だけ見ずに日々削減を意識してください。
(4) 水道量削減	○	○	水道量削減は、節水効果を徹底したことにより、目標達成できた。
(5) ECO 活動推進	○	○	事務部門のペーパーレス化を継続実施中

目標比 105.0%までは○としている

③ 代表者による環境方針等の変更の必要性並びに指摘事項

項目	変更の要否	指示事項等
(1) 環境方針	否	変更なし
(2) 環境目標	否	変更なし
(3) 環境活動計画	否	変更なし
(4) 実施体制	有	本羽田工場は倉庫とし、稼働を一時停止。 研磨工場として仲六郷工場を新規に稼働開始する。 2024 年 4 月に新しい機械が導入されるため、本年中に再度体制は変更予定。
(5) 環境経営システム	否	変更なし
(6) 総括	否	概ね順調、引き続き活動を継続。新規顧客獲得、新規工場立上げ等により、今後も全体的には環境への負荷量は増加するであろう。 環境事務局の取りまとめもスピーディに活動すること。 全社的に改善活動も継続させムダ取り、合理化を推進していくこと。